

経皮的心肺補助(VA-ECMO)と Impella の併用療法を行った患者に対する 早期経腸栄養の安全性の研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ICU に入室するような重症患者さんにおいて、口から食べることが難しい患者さんでも早期に鼻からチューブを挿入し、そこから胃や腸に栄養剤を投与することで死亡率が低下することが報告されており、ガイドライン上でも奨められています。しかし同時に、血圧が下がるようなショック患者さんでは循環動態が安定するまでは栄養を控えることも提案されています。今回、経皮的心肺補助(VA-ECMO; Veno-arterial extracorporeal membrane oxygenation)と Impella の併用療法を行った患者さんにおいて、早期に栄養を開始することの安全性についての検証を行います。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2018 年 9 月～2025 年 3 月に当院の ICU で経皮的心肺補助(VA-ECMO)と Impella の併用療法を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、主病名、既往歴、合併症、ICU 在室期間、栄養開始日時、使用栄養剤、栄養投与速度など
使用開始予定日：2025 年 7 月 31 日

研究予定期間

2025 年 7 月 31 日～2028 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 栄養部 宇治野智代

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 栄養部 宇治野智代

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)